



組織DNA分離用試薬キット

Code No. NR-201

NR-201

研究用試薬

本試薬キットは弊社製核酸自動分離装置を用いた組織DNAの自動分離に必要な試薬をセットにしたものです。本試薬はDNAの収量、純度並びに装置の信頼性に配慮した特殊な組成となっています。なお、本キットにはプロテアーゼ、RNaseは含まれておりません。必要により別途購入してください。

キットの構成

試薬名・略称 (コード)	組成(規格)	包装	本体での セット位置*	危険表記及び 取扱上の注意
プロテアーゼ溶解試薬・試薬2** (NR-2025)	Tris-HCl,pH8.0	250ml 1びん	手作業で使用 します。	
フェノール試薬 試薬3 (NR-3025) 医薬用外劇物	酢酸カリウム 酢酸 フェノール クロロホルム その他安定剤	250ml 1びん	3	 劇物に該当する成分(フェノール)を含みます。皮膚、目等への接触に注意してください。 成分として労働安全衛生法による有害物含有 要冷蔵保存
沈澱試薬・試薬4 (NR-4050)	エタノール ブタノール	500ml 1びん	4	 引火性。 成分として労働安全衛生法による有害物含有
洗浄試薬・試薬5 (NR-5050)	エタノール イソプロピルアルコール	500ml 3びん	5	 引火性。 成分として労働安全衛生法による有害物含有
DNA溶解試薬・ 試薬7 (NR-7025)	Tris-HCl,pH8.0 EDTA	250ml 1びん	7 6***	
組織用懸濁試薬・ 試薬10** (NR-10025)	Tris-HCl,pH8.0 EDTA,NaCl 界面活性剤	250ml 1びん	手作業で使用 します。	

* 本体正面、扉側から見て左から順に1~8番としています。

**装置では使用しません。前処理にお使いください。

***PI-50 α 、NA-2000、PI-200、PI-80X、PI-480では6番にセットします。

PI-80X、PI-480にてシリンジ増設をされている場合、試薬のセット位置が上記と変わる場合がございます。

A. 使用方法

NR-201

1. 別途購入されたプロテアーゼを試薬2を用いて必要な濃度に溶解します。試薬は要事調製いただけることをおすすめ致します。一時保管としましては冷蔵庫での保存をおすすめします。

<調製例>

5 mg の和光純薬製プロテアーゼK (Code No.160-14001) を、25 ml の試薬2で希釈します。

2. 別途購入されたRNaseを試薬7を用いて必要な濃度に溶解します。

<調製例>

(株)ニッポンジーン製RNase (Code No.313-01461) を終濃度20 µg/mlになるよう試薬7を用いて希釈します。

3. 試料数及び各ステップでの試薬の添加量から、全試料の処理に必要な試薬の量を算出します。

4. 試薬10に含まれる界面活性剤は約15℃以下で沈殿を生じます。沈殿が認められたときは温湯で溶解の後、ご使用ください。

5. 各試薬のセット位置を間違わないように注意しながら、装置に試薬をセットします。もし間違ってもセットされますとDNAが分離できないだけでなく、組み合わせによっては沈殿を形成し、電磁弁、シリンジ、配管のつまりなどの故障の原因となります。

6. 試薬びんを交換した場合は、配管に生ずるエア等を除くために、必ず廃液モードで装置のリセットを行います。(操作の詳細は取扱説明書を参照してください)

B. 試薬の消費量

試薬の消費量は処理条件(各ステップでの添加量、1回の分離運転での試料数)により異なりますが、標準的なプロトコールで使用されますと、本試薬キットで約600試料の処理が可能です。

C. 使用上または取扱上の注意

1. 試薬は指定された保存状態で保存してください。

組織用懸濁試薬・試薬10(NR10025)は低温で沈殿を生じますので、15℃以上で保存してください。もし、沈殿を生じたときは約60℃の温湯で溶解してください。

2. フェノール試薬・試薬3は毒物及び劇物取締法による医薬用外劇物、並びに労働安全衛生法による有害物に該当する成分を含みます。吸入、皮膚への接触などに十分注意し、誤って接触した場合などは多量の水で洗うなど適切な処置が必要です。

3. 沈殿試薬・試薬4及び洗浄試薬・試薬5は消防法による危険物、並びに労働安全衛生法による有害物に該当する成分を含みます。火気に注意するとともに、吸入、皮膚への接触などに十分注意し、誤って接触した場合などは多量の水で洗うなど適切な処置が必要です。

4. 本試薬は研究用試薬です。医薬品、体外診断用医薬品など他の用途には使用できませんので十分ご注意ください。

D. 貯法

試薬2(酵素添加後)、3、7(酵素添加後)は冷蔵庫(2~8℃)で、試薬4、5、10は室温で保存してください。

研究用試薬

本試薬は研究用試薬です。医薬品、体外診断用医薬品など他の用途には使用できませんので十分ご注意ください。

お問合わせ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 バイオメディカル部

〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30 クラボウ先進技術センター2F

TEL: 072-820-3079 FAX: 072-820-3095

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1 野村不動産日本橋本町ビル2F

TEL: 03-3639-7077 FAX: 03-3639-6998